

IARS 異常症

黒毛和種にはいくつかの遺伝病があり、バンド 3 欠損症やクローディン 16 欠損症などが知られていますが、平成 25 年に黒毛和種の虚弱子牛症候群の原因の一つとされる **IARS 異常症** が新たな遺伝病として公表されました。

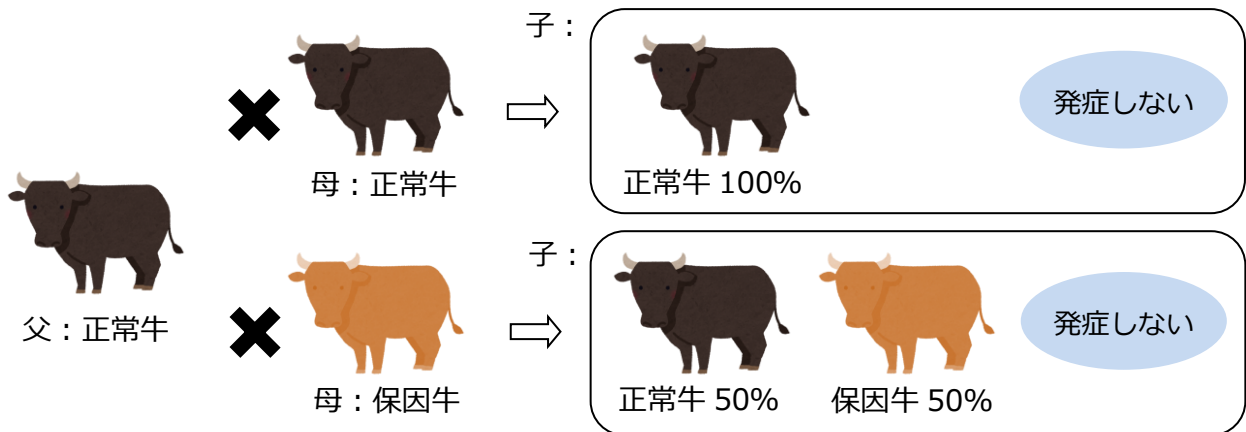
➤ 発症牛の特徴は？

生まれたときの低体重、出生後に自力で立てないなど虚弱であること、肺炎や下痢にかかりやすいこと、低発育や削瘦が特徴です。黒毛和種以外のホルスタイン種や交雑種は発症しません。

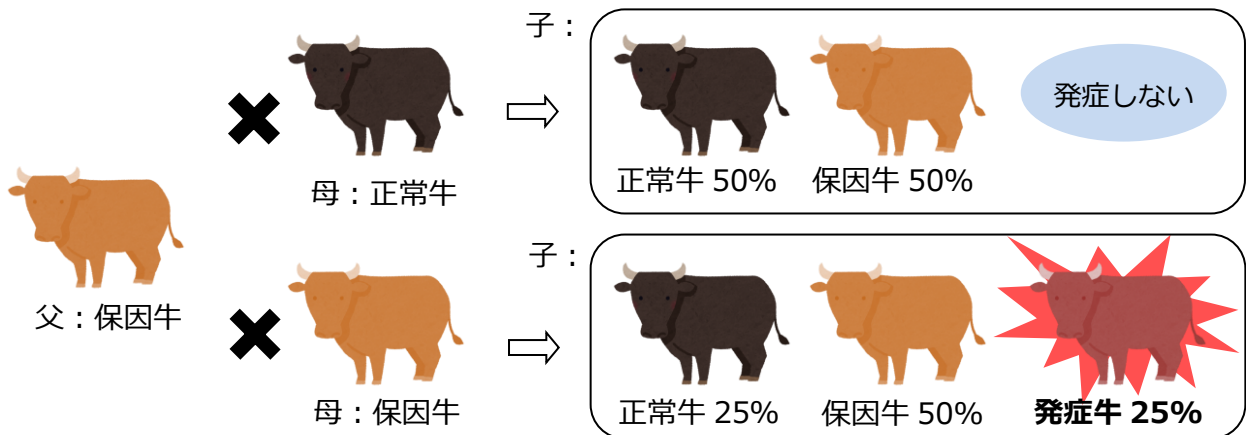
➤ 病気を予防するには？

IARS 異常症の保因種雄牛は公表されています。図のように IARS 変異型遺伝子の 保因牛同士の交配を避ければ、IARS 異常症の発症牛は生まれません。 また、母牛の毛根を材料にして遺伝子検査を行うことで、母牛が保因しているかが判ります。母牛の血統から保因が疑われる場合は保因種雄牛との交配を避けるとよいでしょう。

正常種雄牛と交配した場合



保因種雄牛と交配した場合



正常牛：正常型遺伝子を 2 つ持ちます

保因牛：正常型遺伝子と変異型遺伝子を 1 つずつ持ちます

発症牛：変異型遺伝子を 2 つ持ちます